

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	火災予防活動経費			所管課	消防課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）
					●
事業対象	町民、事業所	目的	住宅防火対策の推進及び各種事業所との協力による防火体制の確保。		
事業概要	町民等の防火思想の普及啓発を図るとともに、住宅用火災警報器の全戸設置や高齢者死傷事故防止対策の推進など、住宅防火対策や、町内の事業所や危険物施設に対する消防法令の遵守指導を行う。				

事業予算									
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	0001	火災予防活動経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費		R 4 事業費	
	直接事業費	105		79					
	概算人件費	1,744		1,744					
	トータルコスト	1,849		1,823		0		0	
	国庫/県支出金	0		0					
	その他	0		0					
R 1 概算人件費	正規職員			0.35 人		1,744 千円			
	再任用職員			0 人		0 千円			
	会計年度任用職員			0 人		0 千円			
	その他			0 人		0 千円			
	合計					1,744 千円			

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 住宅防火出前講座と事業所連携の防火講習開催数（回）	10	10	3	10	10
② 各種事業所担当者の防火研修派遣者数（人）	5	3	3	5	5

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、住宅防火出前講座は未開催である。住宅用火災警報器は全戸設置を目標に普及啓発を推進する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	消防職員教育推進事業（一般経費）			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	職員	目的	消防の専門的知識と技術を習得した職員を効率的に配置するために教育派遣及び各種資機材取扱い資格の取得に関する計画を元にした教育を行う。			
事業概要	職員の諸手当、旅費、負担金その他被服等を管理し、円滑な業務運営を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0003 一般経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
						R 4 事業費
	直接事業費	463		990		
	概算人件費	1,717		1,717		
	トータルコスト	2,180		2,707	0	0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	90		0		
R 1 概算人件費	正規職員			0.38 人		1,717 千円
	再任用職員			0 人		0 千円
	会計年度任用職員			0 人		0 千円
	その他			0 人		0 千円
	合計					1,717 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 計画による教育・資格取得者数（人）	8	7	5	13	13
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 年間計画に基づき職員を研修に派遣して、消防職員の技術向上に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	応急手当普及活動経費			所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民・事業所	目的	小中学生への普及による応急手当講習受講者の底辺拡大を目指す。			
事業概要	町民や事業関係者に応急手当の普及啓発活動を図り、正しい応急手当や救命処置の正しい知識や技術を習得させる。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0004 応急手当普及活動経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	115		150		
	概算人件費	1,184		1,184		
	トータルコスト	1,299		1,334		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.2 人		1,184 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			1,184 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 小中学生の応急手当講習等の受講者数（人）	200	205	30	250	250
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 コロナ禍により、社会や学校の取巻く環境が大きく変化して、先行きが不透明である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	警防活動経費			所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●		●	●
事業対象	職員、事業所	目的	消防活動に必要な組織運用規定の運用と訓練設備の整備、事業所との連携を図り大規模災害や特殊災害等への対応強化を図る。			
事業概要	消防活動に必要な施設や設備の保守・維持の管理を充実して災害に備える。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0005 警防活動経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	485		581		
	概算人件費	1,259		1,259		
	トータルコスト	1,744		1,840		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.29 人		1,259 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			1,259 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	消防組織計画の改訂	-	改訂	運用	運用	運用
②	事業所との資機材供給や活動に関する協定締結数	0	0	0	0	2
③	津波避難誘導活動マニュアルの策定と運用	-	一部運用	運用	運用	運用

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	□	■	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	災害活動に必要な規定運用と必要な改訂を行い適切な部隊運用に努めている。大規模災害等を見据えた事業所等との協定締結に向けて想定される災害の検討を進めている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	緊急消防援助隊活動経費			所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	職員	目的	緊急消防援助隊における活動維持と受援時の活動を円滑に行う。			
事業概要	国内で発生した大規模災害等に際して出動要請があった場合、当町が緊急消防援助隊として被災地に出動し、活動するために必要な経費。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	0007 緊急消防援助隊活動経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	27		312		
	概算人件費	726		726		
	トータルコスト	753		1,038		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.18 人		27 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			27 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 消防受援訓練実施回数（回）	1	0	1	1	1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等					

必要性

5

4

3

2

1

持続可能性

時代即応性

実効性

必然性

緊急性

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	救急救助活動経費			所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民、職員、事業所	目的	救急全般及び救助における安定した業務及び充実強化を図る。			
事業概要	各種災害に対する適切な救急救助活動のため、資機材の整備・メンテナンスを行うとともに、局所的集中豪雨及び震災対応資機材の充実強化を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0008 救急救助活動経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	6,057		8,222		
	概算人件費	2,971		2,971		
	トータルコスト	9,028		11,193		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.55 人		2,971 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			2,971 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 救急体制確保のために連携する高齢者福祉施設数（施設）	1	1	0	1	1
② 破壊家屋救助資機材、水難救助資機材の整備数	4	4	3	2	2
③ 救助マニュアルの整備数	3	10	1	2	0

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	
<p>重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく</p> <p>重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い</p> <p>維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく</p> <p>改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要</p>			

分析					
分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	安定した救急サービス、震災や風水害対応における計画的な資機材の整備が必要。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	消防車両管理経費			所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民	目的	車両及び装備品の法令点検や修繕を行い消防業務の維持を図る。			
事業概要	各種災害に対して適切な消防活動を確保するため、消防車両及び装備品を万全な状態で維持管理し、消防・救急体制の充実を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0009 消防車両管理経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	5,946		4,397		
	概算人件費	2,494		2,494		
	トータルコスト	8,440		6,891		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.58 人		2,494 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			2,494 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	消防・救急車両更新事業			所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	最新の車両・資機材の導入して機能強化を図り、多様化する消防救急需要に対応する。			
事業概要	消防力を維持するために計画的に車両更新を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0010 高規格救急自動車購入事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
						R 4 事業費
	直接事業費	33,506		0		
	概算人件費	792		0		
	トータルコスト	34,298		0	0	0
	国庫/県支出金	23,278		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員		0.58 人		792 千円	
	再任用職員		0 人		0 千円	
	会計年度任用職員		0 人		0 千円	
	その他		0 人		0 千円	
	合計				792 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 車両更新整備台数（台）	1	1	0	1	0
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等 国の補助事業などを活用して、消防業務全般に万全を期するため、計画的に車両整備、更新が必要。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	消防団運営経費			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	消防団・事業所	目的	消防団員として長期間活躍できる環境整備と昼間災害や大規模災害時の活動をサポートする機能別消防団員制度を確立する。			
事業概要	災害に備え、条例及び規則に定める消防団を運営管理するための経費。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	02	大事業 0001 消防団運営経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	17,601		20,139		
	概算人件費	493		493		
	トータルコスト	18,094		20,632		0
	国庫/県支出金	70		120		
	その他	2,025		3,712		
R 1 概算人件費	正規職員			0.1 人		493 千円
	再任用職員			0 人		0 千円
	会計年度任用職員			0 人		0 千円
	その他			0 人		0 千円
	合計					493 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 団員確保に関する各制度の実績数	1	1	1	2	2
② 機能別消防団員制度の検討と運用	-	検討	規約制定	運用	運用

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 近年、消防団員の確保は、地域の協力で多少の減員で維持できている。今後は、人口減少に伴い団員確保が困難になるため、機能別消防団員の導入やOB団員の協力を検討し団員確保に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	分団消防車両管理経費			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	消防団	目的	消防団車両の維持管理と幅広い災害へ対応するために車両及び資機材の一律配備を見直し再整備を検討する。			
事業概要	消防団車両の整備及び装備品の強化を図り、出動体制の万全を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	02	大事業 0002 分団消防車両管理経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	1,676		1,516		
	概算人件費	724		724		
	トータルコスト	2,400		2,240		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.17 人		724 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			724 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 車両・資機材の再整備数	0	1	1	1	1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 車両更新計画により順次車両及び資機材等の更新を実施して、大規模災害に対応でき得る消防力の維持に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	分団施設維持管理経費 ※			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	消防団	目的	消防団詰所の維持管理と修繕・改修計画の検討をする。			
事業概要	消防団の活動拠点である分団詰所を適切に管理し、消防団員の活動環境の向上を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	02	大事業 0003 分団施設維持管理経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	745		900		
	概算人件費	459		459		
	トータルコスト	1,204		1,359		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	1		3		
R 1 概算人件費	正規職員			0.1 人		459 千円
	再任用職員			0 人		0 千円
	会計年度任用職員			0 人		0 千円
	その他			0 人		0 千円
	合計					459 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等 消防団が安全に活動できる詰所の更新や改修等を検討し実施する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	消防庁舎維持管理経費 ※			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	職員	目的	消防庁舎の維持管理と修繕・改修計画の検討をする。			
事業概要	消防庁舎の環境を整備し、作業能率の向上を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0002 消防庁舎維持管理経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	6,649		6,506		
	概算人件費	1,125		1,125		
	トータルコスト	7,774		7,631		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.25 人		1,049 千円		
	再任用職員	0.05 人		76 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			1,125 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等 消防庁舎の耐震補強は実施済みだが、いろいろな箇所で行舎の傷みがみられ修繕等をする必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	消防広域化への取組み(消防救急無線広域化・共同化等整備事業)			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	職員・近隣市町	目的	消防広域化の検討と消防共同指令センターの整備・運用を適切に行い連携強化を図る。			
事業概要	消防通信指令業務の高度化と行政財政の効率化を図ることを目的に、無線機器や指令システム等の整備及び維持管理を共同で行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0006 消防無線広域化・共同化等整備事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	12,470	14,534			
	概算人件費	942	942			
	トータルコスト	13,412	15,476		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.2 人		942 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			942 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 広域化及び連携強化に関する会議・検討会の開催数（回）	3	6	4	3	3
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 広域連携の推進	3.83	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 1市2町で共同消防指令センターを運用することで消防業務において、1市2町の連携が強化されている。今後整備から5年後の令和3年度に指令システムの部分更新、10年後の令和8年度に全部更新が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			